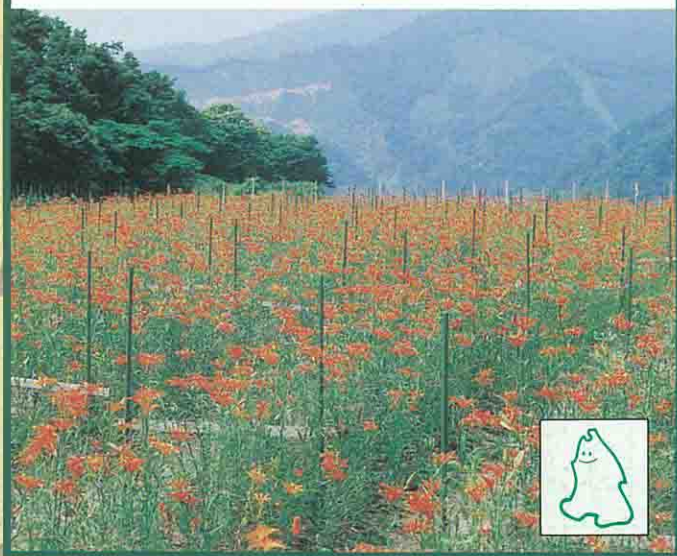


NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA
新・奥の細道

一周ルート
⑧

ひめゆりの花咲く猿鼻のみち

Himeyuri-no-hanasaku-sarubana-no-michi



山形県

周辺の
アクセス
ガイド

・新庄駅よりバス乗車で15分。・新庄市から車で15分。
・新庄駅から村役場までバスで20分、村営バスに乗り換えて15分。・新庄市から車で20分。
・新庄市から車で15分。
・新庄市から車で15分。



| | | |
|------------|---------------------------------------|---------------|
| 観光・宿泊のお問合せ | 鮭川村企画課 〒999-52 山形県最上郡鮭川村大字佐渡2003-7 | ☎0233-55-2111 |
| 交通のお問合せ | 鮭川村企画課 〒999-52 山形県最上郡鮭川村大字佐渡2003-7 | ☎0233-55-2111 |
| コースのお問合せ | 鮭川村企画課 〒999-52 山形県最上郡鮭川村大字佐渡2003-7 | ☎0233-55-2111 |
| | 山形県環境保護課 〒990-1 山形市松波2-8-1 | ☎0236-30-2207 |

表紙の写真は、みちのくひめゆり

NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA
GUIDE
みどころ案内

庭月観音

Niwatsuki-kannon



庭月観音

鮭川の清流を前にし、その背景には出羽富士と呼ばれる鳥海山が静かな佇まいを見せ、昔から万願の霊場として信仰が厚く、最上三十三観音打ち止めの寺としても、多くの巡礼者が参詣に訪れます。

灯ろう流し

Toro-nagashi

8月18日「庭月観音灯ろう流し」を毎年開催しています。夕日が沈みかけてくると、響き渡る御詠歌によって20cmほどの灯ろうが鮭川の川面をゆらゆらと下っていきます。まるでご先祖の魂が現世に蘇ってきたように見えます。



灯ろう流し

中央公民館
(さげがわ清流太鼓、
鮭川歌舞伎)

Chuo-kominkan
(Sakegawa-seiryu-daiko,
Sakegawa-kabuki)

村の文化の拠点として、地域づくり活動、交流活動に活発に利用されています。特に新しい文化創造の願いを込めて昭和63年8月に創設された「さげがわ清流太鼓」は、小学1年生を含む24名の会員が創作曲「清流太鼓」などを村内外で披露しています。

又、安永2年(1773)、江戸歌舞伎役者が鮭川村に伝承されたと言われている「鮭川歌舞伎」は今日に引き継がれ、昭和49年には鮭川村文化財指定第一号に選ばれました。毎年9月上旬に定期公演をしています。



鮭川歌舞伎

昔、猿鼻街道は新庄へ通じる主要道路であった。峠には、^{しやうめなが}乗馬長嶺といわれる新庄2代藩主正誠公にまつわる怪奇な伝説の地や、石塚信仰などの遺跡が点在し、当時の面影を漂わせています。自然歩道の出発地、庭月観音は、最上三十三観音の打ち止めの寺として多くの巡礼者が訪れています。昔の街道をイメージした「ひめゆりの花咲く猿鼻のみち」は、初夏には歩道の傍に朱色の可憐な美しいひめゆりが咲きみだれ、みなさまの心をなごませることでしょう。

乗馬長嶺

Jome-nagane



乗馬長嶺の石塚

大もみじ

O-momiji

村内の山野にはヤマモミジ、ハウチワカエデ、イタヤカエデなどが広く自生し、モミジやカエデなどの名でよく親しまれています。

モミジは、雪や寒さに強く、花は派手さがなく目立たないが、早春ひっそりと咲く美しさは雪国に住む村民の純粋な心情を象徴する木として「村の木」に指定されています。



大もみじ

コースの起点泉川バス停近くにあるヤマモミジは根元の周囲が3.5m、樹齢350年以上という巨木で、モミジとしてはたいへん珍しいものです。また、里山がすっかり雪化粧してからも葉が全部落葉しないかぎり絶対に雪は降らないと伝えられており、地域の人々の冬ごもりの目安となっています。

みちのくひめゆり

Michinoku-himeyuri

出羽丘陵の奥懐に抱かれた山野に自生されていた「みちのくひめゆり」。

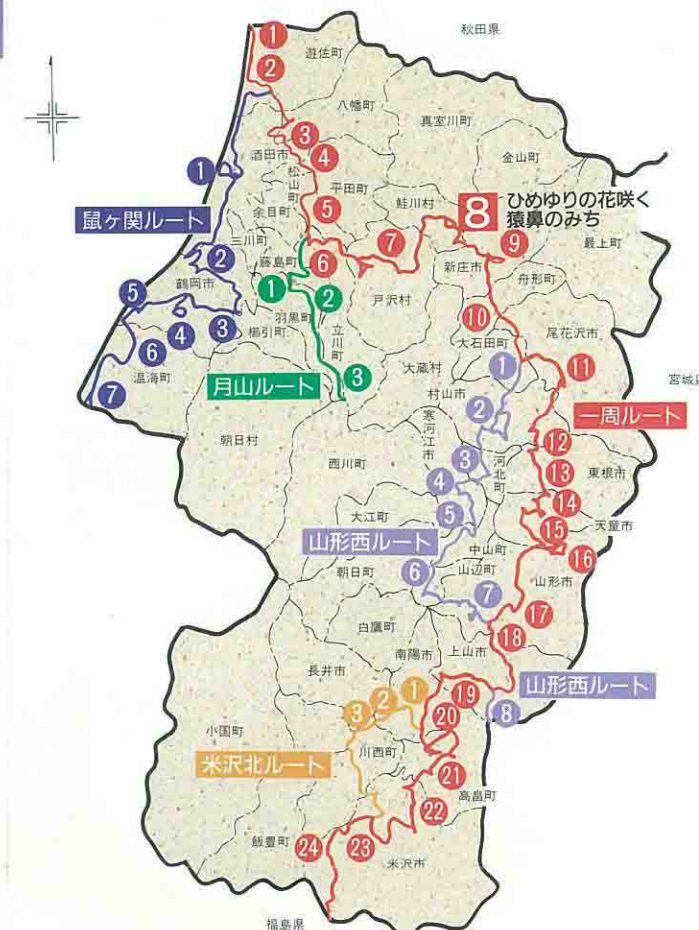
今では、鮭川村の特産物として栽培されています。その可憐な朱色の花はもともと村民に親しまれ、村の花にもなっています。

初夏には、歩道の傍に美しいひめゆりが咲きみだれ、みなさまの心をなごませることでしょう。



みちのくひめゆり

YAMAGATA MAP
東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



“新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・風ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
 2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
 3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発！

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- ・そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元還元融資を受けてつくられました。